CRPD第27条・一般的意見案へのコメント（2021年12月）No.４１

**国際リハビリテーション協会（RI）**

**Rehabilitation International (RI)**

（JD仮訳）

障害者権利委員会への意見提出

障害のある人の労働と雇用の権利に関する第 27 条に関する一般的意見案について

1922 年に設立された国際リハビリテーション協会（RI）は、障害のある人、サービス提供者、政府機関、学界、研究者、権利擁護者が、障害のある人の生活の質の向上に取り組む世界的な組織である。RIはまた100カ国以上、世界のすべての地域に会員組織を持ち、研究と実践に関する経験と情報を交換するフォーラムでもある。

RIとその会員は、障害のある人とその家族が重要なサービスを受けられるようにし、またそれを改善することを含め、障害のある人の権利を守るために活動している。さらにRI は、国際、地域、国の各レベルで強力な政策と立法を構築するために、関係者と権利擁護者の協力を促進している。

国際リハビリテーション協会（RI）は、障害者の権利に関する一般的意見の案に次のコメントをする機会を与えられたことを、障害者権利委員会（委員会）に感謝する。

6 ページ（パラグラフ18）：

**最初の文の「障害」の後に「企業から隔離された」を追加することを提案する。**説明：　中国（Zhuhai、珠海）で活動する米国企業FLEXは、企業内に障害者部門を設置し、これは全従業員に包摂されている（www.flex.com）。この企業内作業所という方法は、企業の外のシェルタード・ワークショップ（保護作業所）を避けることができるため、RIは委員会の文書がこの選択肢を尊重することに賛成する。

10 ページ（パラグラフ35）：

我々は、委員会に、**「労働組合や労働評議会などその他の代表組織には、少なくとも1名の障害のある人が含まれるべきである。」の一文の追加**を提案する。説明：　ドイツの労働法によれば、この障害のある代表者は、障害のある人の採用、解雇、職場復帰を含め、従業員の障害に関するすべての事柄に参加することになっている。

14 ページ (パラグラフ49)：

合理的配慮は単に第二位の価値の選択肢であるという委員会の進歩的なメッセージが見られない。RI は、最初の文の後に次の追加文を推奨する。**「企業のアクセシビリティ措置を予見した、国による予防指向の奨励策（動機づけ）が望まれる」。**説明：この優先順位が実現すればするほど、より多くの障害のある人が第一の労働市場で仕事を見つけることができ、単独のケースでの合理的配慮は最後には時代遅れになる。この知見は、ドイツ政府のための国際調査に基づく、民間企業のアクセシビリティに関するRIガイドラインに掲載される予定である。

15 ページ (パラグラフ55) ：

RI は、次の一文の追加を推奨する。**「ジョブ・マッチングの仕組みは、職場復帰（RTW）マネージャーをコンサルタントとして望ましい障害のある人とし、このマネージャーが組織の一部の再設計を企業と話し合うことで、強化することができる」。**説明：　上記のRIガイドラインは、オランダのwww.umv.nlやカナダのwww.nidmar.caのような世界的な優良実践事例を提供している。

22 ページ（パラグラフ82）：

第 2 文冒頭に「予防的な...」を入れる。説明： 上記の 14 ページに関する推奨事項を参照のこと。

28 ページ kの最後の文：

**RI は、この文を削除するよう提言する。**説明：　委員会の文書は、国家が運営する機関に国民が批判的な南米のように、さまざまな国家文化に対応している。効果的なRTWは、RTWの経済的利益のために、民間部門または社会保障機関におけるダイバー（水面下で働く人）の活動に基づいている。彼らにとっては、障害のある失業者に補償するよりも、仕事を維持したり見つけたりすることに投資する方が魅力的なのである。

国際リハビリテーション協会 労働・雇用委員会

（翻訳：佐藤久夫、春名由一郎）